

6 本時案

本時目標 大魚を目の前にして太一が抱いた「こんな感情」を考えることを通して、クエをとることに対する太一の葛藤に気付くことができる。

学習活動	主な支援・留意点【評価】
② 学習の振り返りをする。	① 太一が抱いた「こんな感情」について話し合う - 全体での話し合いの前に、自分の考えを話す場としてペア交流の時間を持つ。 - これまで読んできたことと、叙述に基づいた自分の読みを根拠に意見が言えるようにする。 - 同じ考えでもつなげて言えるようにすることで、発表することに抵抗のある子どもでも自信が持てるようにする。 - 答えを一つに絞らず、叙述を元に、考えを深めていったことを大切にする。 - クエに対する感動と漁師として獲りたい思いの葛藤に気付けるようにする。 「おだやかな目」「永遠にここにいられる」の読みで焦点化を図る。 ◇登場人物の相互関係や場面の描写から、その心情を叙述に即して想像しながら読むことができる。【読むこと】 ◇叙述から想像して読み、読み取ったことを進んで話し合おうとしている。【関心意欲態度】 - 話し合いの中で、新たな問題が出てきた場合は、次回につなげる。 - みんなで話し合って「わかったこと・思ったこと」を板書をじっくり見てから書くようにする。

太一の夢について考えてきた子どものうち多くは、「こんな感情」は太一がクエをとらないとしたきっかけの一つであると考えている。しかし、読みこんでいる内容にかなりの差があるため、とりたい思いに止まったままの子どももいる。互いの読みを重ね合わせていくことを通して、泣きそうになるほど葛藤する太一の気持ちに気付いてほしい。また太一の心をそれほどまでに揺さぶったクエの姿と、それに感動する太一の気持ちにも気付いていけるとよい。これまでの自分の読みに友達の読みを重ねてそうしたことに気づき、読み深めていく姿を本時でのひびき合う姿としたい。